

TEGOネットだより浜田

はじめに

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年9月9日 第28号
浜田市農林業支援センター

実りの秋になり多忙な毎日と思います。今年は長梅雨や低温の影響でコメの生育状況が思わしくなく中国地方における作況指数は95～98「やや不良」と見込まれておりますがいかがでしょうか。朝夕の気温は下がり日中は厳しい暑さの毎日ですが、体調管理、特に今年は新型インフルエンザに気を付けて実りの秋を乗り越えましょう。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム (担当: ^{まえばら}前原・^{つかもと}塚本)

農業研修生 第1号が誕生!

今回は「浜田市ふるさと農業研修生」として、8月から金城町の認定農業者藤若将浩さんの下で1年間の研修を開始した柿元信次さんを紹介します。

柿元さんは愛知県刈谷市出身。もともと関心のあった農業に挑戦し、自然の中で子育てをしたいと、家族とともに浜田市への移住を決意されました。「農業の経験がないので分からないことばかりだが、毎日新たな発見があって楽しい」と笑顔で話す柿元さん。この日はピオーネの収穫・出荷調製作業に黙々と取り組んでおられました。

農業研修生は柿元さんに続いて2名が決定。当支援センターでは、研修中の支援はもちろん、**研修終了後の就農に向けたサポート**も担当します。



認定農業者支援チーム (担当: ^{まつい}松井・^{まえばら}前原)

「美味しまね認証」始まる



島根県では今年度から「安全で美味しい島根の県産品認証制度」(美味しまね認証)をスタートさせています。これは、農・畜・林・水産物の生産から出荷までのすべての管理が、安全性や品質に関する県独自の基準を満たしていることを知事が認証する制度です。

これまでに2回の審査が行われましたが、浜田市からは旭町の認定農業者(有)サングリーン開発が生産する「赤梨」(幸水、豊水など)が厳しい審査をクリアし、隠岐の島町のコメとともに農産物の県内第1号として9月1日に認証されています。

多くの生産者がこの認証を取得できるように取組を推進し、消費者の皆さんに安全で高品質な島根県産品をお届けしたいと思います。



このマークが目印です

集落営農組織支援チーム (担当: ^{もりい}森井・^{かまはら}鎌原)

集落営農組織の経営多角化に向けて



「いわみ中央集落営農組織連絡協議会」の総会が7月30日に弥栄会館で開催されました。

多くの来賓が出席され、西部農林振興センターの原田部長からは「米価が低迷するなか、できる範囲からコメ以外のものをつくって経営の多角化を」と組織の維持発展に向けた激励がありました。

総会終了後は椅子を丸く並べ、各組織の代表者と関係機関の担当者がそれぞれの活動状況や課題をもとに意見交換を行いました。女性の活躍の場として野菜栽培に取り組んでいる組織もあり、今後は「女性向けの野菜の年間栽培体系」について検討するなど、経営多角化を目指した支援を行っていききたいと思います。



2. 「ピオーネ先進地視察研修」を開催しました



8月25日・26日に金城町ぶどう生産者協議会と関係機関の職員13名が「ピオーネ先進地視察研修」として鳥取県東伯郡を訪れました。

初日は、鳥取県園芸試験場砂丘地農業研究センター（北栄町）で「ブドウの高品質果実生産のポイント」をテーマに、種無しブドウにするために行うジベレリン処理について技術指導を受けました。

そして翌日は、羽合ぶどう部会の河本副指導部長の園地を訪問し、収穫後ではありましたが、きれいに管理されたピオー



ーネハウスを見学させていただきました。

今回の視察先と浜田市では砂丘地と火山灰土壌という土質の違いがあり、平均気温にも差がありますが、高度な管理技術は参考にすべき点が多く、今後は西部農林振興センターの普及員と相談しながら、実際にできるものから取り組んでいくこととしました。

3. いちじくの出荷が始まりました



浜田のいちじく（品種：蓬萊柿^{ほうらいし}）は、古くから長浜町を中心に盛んに栽培され、唐柿（とうがき）という呼び名で親しまれてきました。

近年は栽培面積や生産量が減少していますが、当支援センターではJAなどの関係機関とともに生産者の増加や栽培技術の向上といったテーマに取り組み、浜田いちじくの復興を目指しています。

浜田市いちじく生産組合（37名）では9月5日から出荷が始まりました。10月下旬まで、市内のスーパーやJA産直「きんさい市場」にその日の朝採れた新鮮ないちじくが並ぶ予定です。地元で長年愛されてきた自然な甘みと食感をお楽しみいただければと思います。

4. きんさい市場の「野菜ソムリエ」を紹介しす

「野菜ソムリエ」とは、野菜や果物の種類・旬・保存方法・栄養価・食べ方などを理解し、伝える専門家です。

JA きんさい市場（黒川店、周布店）では、この資格を持つ職員、野海有加さんがレジ担当で活躍されています。生産者に産直野菜の特徴を教わりながら、簡単に美味しく作れる料理のレシピをお客様に提案していきたいと意欲満々です。

皆さんも野菜や果物について知りたいことがあれば、野菜ソムリエの野海さんに相談されてはいかがでしょうか。



5. 「米粉加工研修会」が開催されます

水田を最大限に活用して食料の安定供給を図るという観点から「米粉」が注目されており、県内の各地域でも米粉加工の取組が進みつつあります。

鳥根県農業技術センター加工研究部では、米粉の適正利用について理解を深め、高品質化と利用拡大を図るため「米粉加工研修会」を開催されますので、参加を希望される方は、9月18日(金)までに 当支援センターにご連絡ください。

日時：9月30日(水) 午後1時30分～3時40分

会場：浜田合同庁舎2階 大会議室

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 鳥根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp